SONY

新商品ニュース

α7RII

カメラを、もっと先へ。

BE MOVED

本カタログ掲載の価格には配送・接続調整などの費用は含まれていません

Sonnar T* FE 55mm F1.8 ZA 1/125秒 F11 ISO100

創造力を開放する
フルサイズセンサー

Exmor R
CMOS Sensor

高解像度・高感度・高速レスポンスを実現する、有効約4240万画素
世界初*1 35mmフルサイズ裏面照射型「Exmor R（エクスモア アール）」CMOSセンサー搭載

先進のデバイス技術を結集し、世界で初めて*1裏面照射型構造を採用した、新開発有効約4240万画素35mmフルサイズセンサーを搭載。ギャップレスオンチップレンズ構造やARコーティング（反射防止膜）付きシールガラスに加え裏面照射型構造の採用により、画素サイズが縮小しているにも関わらず集光率を大幅に向上。これにより、有効約4240万画素というα史上最高解像度を達成しながら高感度・低ノイズ性能と広いダイナミックレンジを実現。常用ISO100～25600、拡張*2ISO50～102400の広い感度域を実現しました。

*1 35mmフルサイズセンサー搭載デジタルカメラとして。2015年6月26日広報発表時点。ソニー調べ
*2 拡張感度は静止画のみ対応

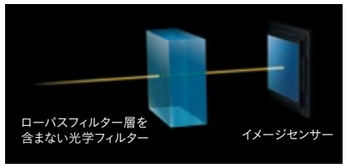
膨大な情報量を高速で読み出す裏面照射型構造

裏面照射型構造化により配線層をフォトダイオードの下に配置するとともに、回路プロセスを微細化することで、回路規模を大幅に拡大。1画素あたりの読み出し線を従来比*約2倍に増やしました。さらに配線層をアルミニウム配線から伝送速度の速い銅配線に変更。新世代の出力インターフェースの採用で、読み出しチャネル数を増やすことなく大容量のデータ伝送を可能にしました（従来比*約3.5倍）。約4240万画素の膨大な情報量を高速で読み出すことができるため、AFレスポンス性能の向上、全画素読み出しによる高解像度4K動画記録を実現しています。 ＊α7R比

高速画像処理エンジン「BIONZ X（ビオンズ エックス）」

画像処理エンジン「BIONZ X（ビオンズ エックス）」を搭載し、約4240万画素の膨大な情報量を高速処理。自然な立体感を再現する「ディテールリプロダクション技術」やパンフォーカス撮影でも解像感を損なわない「回折低減処理」、画像のエリアごとに適切なノイズ低減処理を行う「エリア分割ノイズリダクション」など、新開発のイメージセンサーに合わせた最適なチューニングを施すことで、圧倒的な質感描写力による高画質を実現します。

解像力をさらに引き出す基本性能



レンズの光学性能を引き出し高い解像感を実現する光学ローパスフィルターレス仕様

カメラブレを極限まで抑制する低振動高耐久シャッター＆サイレント撮影機能

有効約4240万画素の高解像性能を最大限に引き出す35mmフルサイズ対応FEレンズ

想像を超える
高速レスポンス

新開発イメージセンサーにより、進化した「ファストハイブリッドAF」

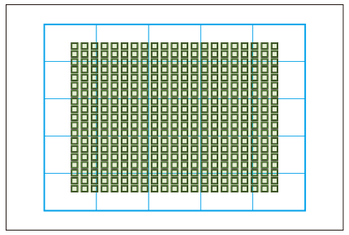
新開発のイメージセンサーに搭載された399点像面位相差AFセンサーによる「ファストハイブリッドAF」を実現。進化した動体予測アルゴリズムによって、高いAF精度を実現しながらAFカバー範囲、AF速度、追従性のすべてが大幅に向上しました。さまざまなシーンや被写体で有効約4240万画素の高解像性能を生かした撮影を可能にします。

WIDE ワイドAF カバー範囲

世界最多*399点像面位相差AFセンサーを高密度に配置した広いAFカバー範囲

世界最大*45%をカバーする範囲に世界最多*399点の像面位相差AFセンサーを高密度に配置。位相差AFセンサーの高い動体追従性に加えて、広いカバー範囲と高密度配置により、ピント合わせが難しい被写体でも瞬時に捉えて離さないAFを実現します。

＊ 35mmフルサイズセンサー搭載デジタルカメラとして。2015年6月26日広報発表時点。ソニー調べ

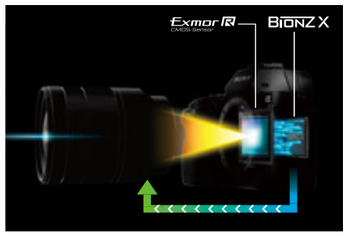


位相差検出方式AF(399点)　コントラスト検出方式AF(25点)

FAST AFレスポンスの高速化

従来比*約40%の高速化を実現したAFレスポンス

新開発のイメージセンサーにより、コントラストAF情報を従来比*約2倍のスピードで高速読み出しが可能。画像処理エンジン「BIONZ X(ビオンズ エックス)」による高速処理と進化した被写体位置検出アルゴリズムと合わせ、レンズ駆動を最適化し、従来比*で約40%高速化したAFレスポンスを実現しました。 ＊ α7R比



リアルタイムなフォーカス制御により、より高速で、正確なAFを実現

STEADFAST 高い追従性

高い追従性能によるAF追従約5コマ/秒連写

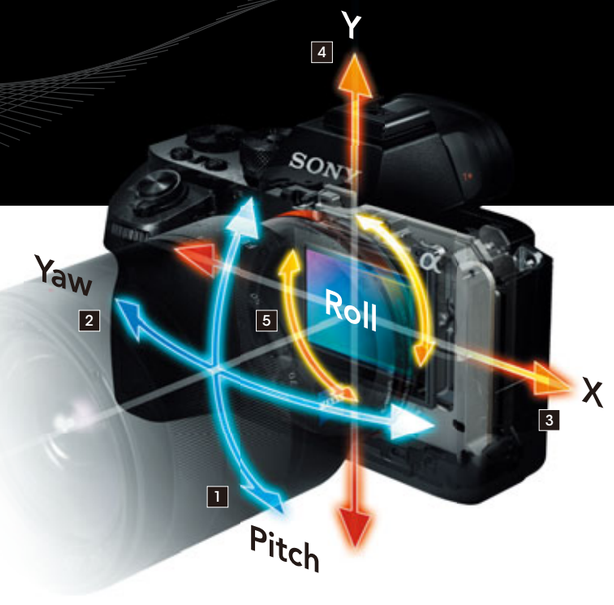
イメージセンサーからの高速読み出しにより、位相差AF情報の高速な読み出しが可能となり、独自の動体予測アルゴリズムと合わせて高い被写体追従性能を実現。広いAFカバー範囲も生かして、一度捉えた被写体を離さず追従し続けます。約5コマ/秒の連写時も高精度にAF追従し続けることが可能です。

Aマウントレンズ装着時の像面位相差AFに対応

専用位相差AFセンサーを搭載していないマウントアダプター(LA-EA3/LA-EA1)を介したAマウントレンズ装着時*でも像面位相差AFが可能。399点の像面位相差AFセンサーによる広いAFカバー範囲と高速レスポンス、高い追従性能をAマウントレンズで実現しました。5軸ボディ内手ブレ補正搭載によるレンズ選択の自由度と合わせて、より多くのαレンズで高解像性能を楽しめます。

＊ SSMレンズまたは、SAMレンズ装着時。メニュー内の「AFシステム」設定から位相差AF/コントラストAFを選択して使用できます

解像力を際立たせる
5軸ボディ内手ブレ補正



有効約4240万画素に最適化された5軸ボディ内手ブレ補正機構

フルサイズ対応5軸手ブレ補正機構と35mmフルサイズセンサーを小型ボディに凝縮。焦点距離が長くなるほど起こりやすい角度ブレ(1 Pitch/2 Yaw)に加え、マクロ撮影時など撮影倍率が大きくなると顕著に表れるシフトブレ(3 X/4 Y)*1、夜景撮影時や動画撮影時などに目立つ回転ブレ(5 Roll)など、さまざまなブレに対して5軸でブレを検出し補正します。有効約4240万画素のイメージセンサーに合わせて最適にチューニングし、最高4.5段分*2の補正効果を実現しています。また、静止画撮影時と同様に動画撮影時でも5軸で手ブレを補正するため、より高精細な4K動画を撮影できます。

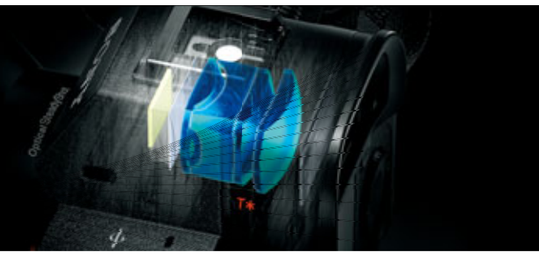
＊1 シフトブレの補正には被写体までの距離に関する情報を使用しています
＊2 CIPA規格準拠、Pitch/Yaw方向、Sonnar T＊ FE 55mm F1.8 ZA装着時、長秒時ノイズリダクションオフ時

さまざまなαレンズで最適な手ブレ補正を実現

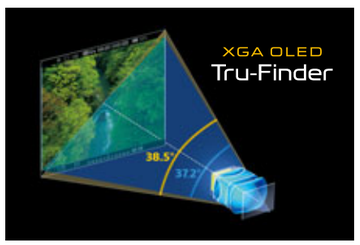
ボディ内手ブレ補正機構の搭載により、さまざまなαレンズで手ブレを補正できます。手ブレ補正非搭載のEマウントレンズはもちろん、マウントアダプターを介してAマウントレンズ*を使用する際にもボディ内手ブレ補正を使用できるため、レンズの描写力を最大限に引き出します。また、手ブレ補正搭載Eマウントレンズ装着時には角度ブレ補正(Pitch/Yaw)をレンズ側で行い、残りの3軸はボディ側で補正することで、最適な5軸手ブレ補正を実現します。

＊ 一部のレンズでは3軸(Pitch/Yaw/Roll)で補正を行います

緻密なピント合わせを可能にする
高性能ファインダー



世界最大*のファインダー倍率0.78倍を実現した「ZEISS T＊コーティング」採用XGA有機ELファインダー



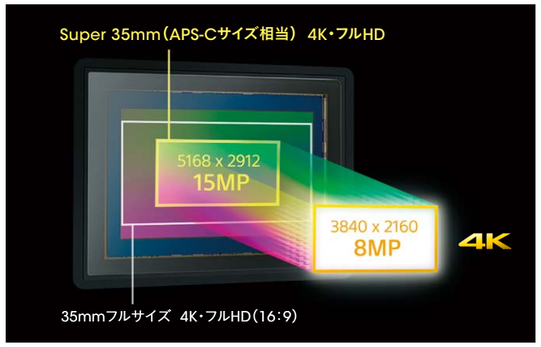
高解像度・高コントラストの有機ELパネルに加えて、接眼レンズには両面非球面レンズを含む4枚レンズによる新規光学系を採用した「XGA OLED Tru-Finder(トゥルーファインダー)」を搭載。世界最大*のファインダー倍率0.78倍(全表示域の対角視野約38.5度)を実現し、隅々までクリアな映像を映し出します。さらに「ZEISS T＊(ティースター)コーティング」を採用し、のぞいた際の映り込みも大幅に低減。各種設定値の反映・拡大表示機能やピーキング機能による微細なピント合わせ、撮影画像の確認、また撮影される映像をぼけ像まで忠実に再現するなど、電子ビューファインダーならではの特性と合わせて、高解像性能を生かした撮影をより強力にサポートします。

＊ デジタルカメラとして、ファインダー倍率約0.78倍(50mmレンズ、無限遠、視度-1m^{-1}時)。2015年6月26日広報発表時点。ソニー調べ

圧倒的な高解像4K動画

4K*
静止画/映像信号HDMI出力
＊QFHD、3840×2160

深化した信頼性と操作性



画素加算のない全画素読み出しによる圧倒的な高解像4K動画記録

Super 35mm（APS-Cサイズ相当 16：9）時は画素加算のない全画素読み出しにより、4K（QFHD：3840×2160）映像に必要な画素数の約1.8倍の豊富な情報量を凝縮して4K映像を出力するため、モアレやジャギーの少ない圧倒的な解像力を誇る4K動画画質を実現。さらに世界で初めて*フルサイズ領域での4K動画記録にも対応し、フルサイズの表現力そのままに高解像な4K動画を記録できます。表現や用途に合わせてSuper 35mmと35mmフルサイズを選択することが可能です。

＊35mmフルサイズセンサー搭載デジタルカメラとして。2015年6月26日広報発表時点。ソニー調べ

高画質映像を実現するXAVC Sフォーマットを採用

XAVC S

プロ用に開発された4K/HD記録フォーマットXAVCを民生用途に拡張したXAVC S*フォーマットを採用。4K記録時は最大100Mbps、フルHD記録時には50Mbpsの高ビットレートでの高画質記録が可能で、高精細かつ圧縮ノイズの影響を抑えた映像表現を実現します。フレーム間の差分情報を用いて圧縮を行うフレーム間圧縮（Long GOP）方式を採用。動画圧縮方式はMPEG-4 AVC/H.264、音声記録方式としては非圧縮のリニアPCM、ファイル形式はMP4を採用しています。

＊XAVC S形式での動画撮影時はClass10以上のSDXCカードをお使いください。また100Mbpsで記録する場合は、UHSスピードクラス3が必要です

記録フォーマット	動画記録画素数	フレームレート	ファイル形式	カラーフォーマット	最大ビットレート
XAVC S 4K	4K 3840 × 2160	30p/24p	MP4	4:2:0	100Mbps/60Mbps
XAVC S HD	FULL HD 1920 × 1080	60p/30p/24p	MP4	4:2:0	50Mbps
	HD 1280 × 720	120p			

プロフェッショナルの映像制作をサポートする動画撮影機能

本格的な動画撮影の現場に求められるさまざまな撮影機能を搭載。カメラ本体で映像のトーンを調整できるピクチャープロファイルや広いダイナミックレンジを実現するS-Log2ガンマ、広色域を持ったS-Gamutに対応。HD（1280×720）での120fpsハイフレームレート記録も可能です。また、編集時に役立つタイムコード/ユーザービット、対応外部レコーダーと同期記録ができるレックコントロール機能、マーカー表示や同時ビデオ記録機能も搭載しています。4K/フルHDともにHDMIクリア出力に対応し、非圧縮映像を外部レコーダーに記録できるだけでなく、外部モニターに映像を出力でき、HDMI出力しながら本体内記録*も可能です。 ＊HDMI経由で4K出力時は本体液晶モニターに映像は出力されません

＊XAVC S形式での動画撮影時はClass10以上のSDXCカードをお使いください。また100Mbpsで記録する場合は、UHSスピードクラス3が必要です

高解像度カメラのピント合わせをアシストするフルHD対応5.0型LCDモニター

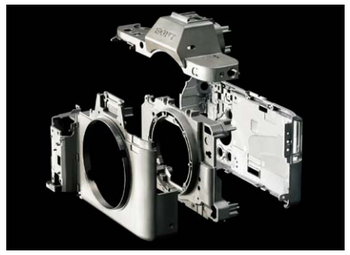
クリップオンLCDモニター **CLM-FHD5** 8月発売予定

Multi Interface Shoe　Accessory Shoe

□ ピント位置を確実に見極められるフルHD（1920×1080）対応 □ ピント合わせをアシストする拡大表示機能（3倍/6倍）、ピーキング機能 □ 露出確認をアシストするFalse Color（フォールスカラー）機能、Video Level maker（ビデオレベルマーカー）機能 □ S-Log2/3映像を通常の映像に近い明るさやコントラストで表示するS-Log表示アシスト機能 □ 好みのアシスト機能を登録できる2つのカスタムボタン □ マルチバッテリー対応（W/M/Vシリーズの3種類） □ 液晶フード、ARコーティング（反射防止膜）対応液晶で屋外撮影に最適

高い堅牢性を実現するフルマグネシウム合金ボディ

過酷な環境下での撮影にも耐えられる堅牢なボディを実現するため、トップカバー、フロントカバー、内部フレームに加えて、リアカバーにも軽量かつ剛性の高いマグネシウム合金を採用。ボディの堅牢性を確保すると同時に、小型・軽量化にも貢献。大型のAマウントレンズの装着時でも、グリップのホールド性を強固なものにしています。



直感的で即時性の高いダイヤル操作

ファインダーをのぞきながら直感的に即時性の高い操作を実現するため、天面のモードダイヤルや露出補正ダイヤルのほか、背面にはコントロールホイール、ボディ前後に2つのダイヤルを配置。グリップを握りながら操作しやすい場所に各ダイヤルをレイアウト。モードダイヤルにはロック機構を新たに搭載し、意図せずに撮影モードが切り替わるのを防ぎます。

さまざまなレンズ使用に配慮した剛性の高いマウント構造

Eマウントレンズの他に、Aマウントの望遠レンズや動画用の重量レンズなど、多種多様なレンズが装着されることを考慮し、より剛性の高いマウント構造を採用。マグネシウム合金によるボディ外装とともに剛性を高め、あらゆる撮影フィールドで安定したパフォーマンスを発揮します。

撮影者のこだわりに応える充実したボタンカスタマイズ機能

撮影者の操作やこだわりに応えるカスタマイズ機能も充実。AELボタン、ISOボタン、AF/MFボタン、カスタムキーなどを含め、使用状況や好みに合わせて機能を自由に割り当てられるボタンを10個搭載*。64項目の機能をそれぞれのボタンに登録でき、よく使う機能を瞬時に呼び出せます。

＊一部の機能は、特定のボタンにのみ登録可能です ※本機では、メインスイッチをOFFにした後、約5秒後に設定値の保存が行われます。電池交換は、メインスイッチOFFから5秒以上経過した後に行ってください。5秒以内に電池を取り外した場合、OFFする前の設定値を記憶できない場合があります

厳しい環境下で使える防塵・防滴に配慮した設計

主要な操作ボタンやダイヤルにシーリング処理を施し、メディア・ジャックカバー、各キャビネット部品のあわせ目を凹凸にすることで2重構造化。ボディ全体にわたり水滴やほこりが浸入しにくい防塵・防滴に配慮した設計により、厳しい環境下での撮影を可能にしています。

※防塵・防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の浸入を完全に防ぐものではありません

ゴミやホコリの付着を防ぐアンチダストシステム

イメージセンサー表面に特殊コーティングを採用。使用環境での温度や湿度などの変化で除去が難しくなるゴミやほこりの付着を抑制し、除去効果を高めます。また、クリーニングモード実行時に自動でセンサーを振動させるアンチダスト駆動により、センサーにゴミやほこりをつきにくくしています。

α7RII

8月発売予定

ILCE-7RM2　α7R Ⅱボディ　オープン価格

※オープン価格商品の価格は、販売店にお問い合わせください

α7RII 主な仕様

型式		レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント		Eマウント
撮像部	撮像素子	35mmフルサイズ（35.9×24.0mm）Exmor R CMOSセンサー
	カメラ有効画素数	約4240万画素
記録部（静止画）	画像ファイル形式	JPEG（DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.3、MPF Baseline準拠）、RAW（ソニーARW 2.3フォーマット）
	RAW出力	14bit*1
記録部（動画）	ファイル記録方式	XAVC S、AVCHD規格 Ver.2.0準拠、MP4
	圧縮形式	XAVC S：MPEG-4 AVC/H.264、AVCHD：MPEG-4 AVC/H.264、MP4：MPEG-4 AVC/H.264
	音声記録方式	XAVC S：LPCM 2ch　AVCHD：Dolby Digital（AC-3）2ch、ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載　MP4：MPEG-4 AAC-LC 2ch
	動画記録撮影モード	XAVC S 4K：3840×2160（30p/約100Mbps、30p/約60Mbps、24p/約100Mbps、24p/約60Mbps） XAVC S HD：1920×1080（60p/約50Mbps、30p/約50Mbps、24p/約50Mbps）、1280×720（120p/約50Mbps） AVCHD：1920×1080（60p/約28Mbps/PS、60i/約24Mbps/FX、60i/約17Mbps/FH、24p/約24Mbps/FX、24p/約17Mbps/FH） MP4：1920×1080（60p/約28Mbps、30p/約16Mbps）、1280×720（30p/約6Mbps）
動画機能	ピクチャープロファイル	切/PP1～PP7（ブラックレベル、ガンマ（Movie、Still、Cine1～4、ITU709、ITU709[800%]、S-Log2）、ブラックガンマ、ニー、カラーモード、彩度、色相、色の深さ、ディテール、コピー、リセット）
	その他の機能	音声レベル表示、録音レベル調整、オートスローシャッター機能、タイムコード/ユーザービット、レックコントロール、同時ビデオ記録、マーカー
HDMI映像出力	出力形式	3840×2160（30p/24p）/1920×1080（60p/24p）/1920×1080（60i）YCbCr 4：2：2 8bit/RGB 8bit
記録媒体		メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック PRO-HG デュオ、メモリースティック XC-HG デュオ、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード（UHS-I対応）、SDXCメモリーカード（UHS-I対応）
フォーカス	検出方式	ファストハイブリッドAF（位相差検出方式/コントラスト検出方式）
	測距点数	35mmフルサイズ時：399点（位相差検出方式）、APS-Cサイズ時：357点（位相差検出方式）/25点（コントラスト検出方式）
	検出輝度範囲	EV-2～20（ISO100相当、F2.0レンズ使用）
露出制御	測光方式	1200分割ライブビュー分析測光
	ISO感度（推奨露光指数*2）	静止画撮影時：ISO100～25600（拡張ISO50～102400）、AUTO（ISO100～6400、上限/下限 設定可）、マルチショットNR（最大ISO102400まで拡張） 動画撮影時：ISO100～25600相当、AUTO（ISO100～6400相当、上限/下限 設定可）
シャッター	形式	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
	シャッター速度範囲	静止画撮影時：1/8000～30秒、バルブ　動画撮影時：1/8000～1/4秒（1/3ステップ）、AUTO時は1/60秒まで、オートスローシャッター時は1/30秒まで
	フラッシュ同調速度	1/250秒（対応フラッシュ装着時）、電子先幕シャッター（入/切 選択可能）
手ブレ補正機能	方式	イメージセンサーシフト方式 5軸補正（補正方式はレンズ仕様による）
	補正効果	4.5段（CIPA規格準拠、Pitch/Yaw方向、Sonnar T* FE 55mm F1.8 ZA装着時、長秒時ノイズリダクションオフ時）
ドライブ	連続撮影速度*3	連続撮影Hi時：最高約5コマ/秒、連続撮影Lo時：最高約2.5コマ/秒
	連続撮影可能枚数*3	連続撮影時 エクストラファイン：24枚、ファイン：30枚、RAW：23枚
ファインダー		形式：1.3cm（0.5型）電子ビューファインダー（XGA OLED） 総ドット数：2,359,296ドット　視野率：100% 倍率：約0.78倍（50mmレンズ、無限遠、視度－1m^{-1}時）
液晶モニター		形式：7.5cm（3.0型）TFT駆動　ドット数：1,228,800ドット 角度調整機能：カメラ背面に対して上に約107度、下に約41度
NFC		NFC対応（ワンタッチリモート、ワンタッチシェアリング対応）
Wi-Fi		スマートフォン転送、PC転送、TV鑑賞
その他の機能		PlayMemories Camera Apps
インターフェース		対応アクセサリーシュー：マルチインターフェースシュー*4 HDMIマイクロ端子（タイプD）、マイク端子（3.5mmステレオミニ端子）、ヘッドホン端子、マルチ/マイクロUSB端子※ ※この商品はマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます
音声		内蔵マイク：ステレオ　スピーカー：モノラル
電源	使用電池	リチャージャブルバッテリーパック NP-FW50
	静止画撮影可能枚数*5	ファインダー使用時：約290枚、液晶モニター使用時：約340枚（CIPA規格準拠）
	実動画撮影時*6*7	ファインダー使用時：約50分、液晶モニター使用時：約55分（CIPA規格準拠）
	連続動画撮影時*6*8	ファインダー使用時：約95分 液晶モニター使用時：約95分
	外部電源	ACアダプター AC-PW20（別売）
質量*9	（バッテリーとメモリースティック PRO デュオを含む）	約625 g（本体のみ約582 g）
外形寸法		約 126.9（幅）×95.7（高さ）×60.3（奥行）mm（突起部含まず）
使用温度範囲		約0～40℃

＊1 長秒時ノイズリダクション、バルブ撮影、連続撮影時の条件では12bitで記録されます　＊2 ISO規格（ISO12232、2006）準拠
＊3 撮影条件や使用するメモリーカードにより異なります　＊4 アクセサリーシュー対応のソニー製アクセサリーも使用できます
＊5 液晶画面をON、ズームをW側、T側、それぞれ交互に端点まで移動を繰り返し、2回に1回フラッシュを発光、10回に1回電源をON/OFFして、30秒ごとに1回撮影　＊6 連続撮影できるのは1回の撮影あたり約29分です（商品仕様による制限）　＊7 撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源ON/OFFを繰り返したときの撮影時間の目安　＊8 連続撮影の制限（29分）により撮影が終了したときは、再度MOVIEボタンを押して撮影を続けた場合の撮影時間。ズームなどその他の操作はしない　＊9 本体同梱バッテリーパック使用時　※本機の動作温度は約0～40℃です。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません
※静止画撮影枚数、動画記録時間の各数値は目安です。被写体や撮影条件などにより異なります　※本カタログ本文中の画素数表記はCIPAのガイドラインに基づき、有効数字4桁以下を四捨五入して表記しています。CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です　※本機では、メインスイッチをOFFにした後、約5秒後に設定値の保存が行われます。電池交換は、メインスイッチOFFから5秒以上経過した後に行ってください。5秒以内に電池を取り外した場合、OFFする前の設定値を記憶できない場合があります

連続して動画撮影できる時間の目安：約29分（環境温度20～40℃）　【ご注意】連続記録可能な時間は温度環境や動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、上記の動画撮影時間より短くなります　※温度により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまま数分間放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください

安全に関する注意　商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書・安全のために」をよくお読みください

安全点検のお願い　このような症状はありませんか
● 電源コードが傷んでいる ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする ● 内部に水や異物が入った
➡ 使用を中止
バッテリーをはずすかコンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください

安全に使用するための注意 ●裏ブタをはずしたり、内部の改造をしたりしないでください ●バッテリーは、指定された充電器以外で充電しないでください ●バッテリーは、火の中に入れたり、ショートさせたりしないでください。また、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしないでください ●濡れた手で充電器やバッテリーパックをさわらないでください　**商品使用上の注意** ●あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません ●万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像などの記録内容の補償についてはご容赦ください ●モニターの表示画面は実際のものや絵、または写真と比較して色や形が異なることがあります　**カタログ上の注意** ●カタログ掲載商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください ●カタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります ●材質は、商品の主材料を示します ●カタログ掲載商品のなかには地域により品薄・品切れになるものもありますので、販売店にお確かめのうえ、お選びください ●カタログに掲載の商品と他の関連機器などを接続する場合は、指定のコードを用い、各機器の取扱説明書をよく読み指示に従って接続してください　**商品購入時の注意** ●購入の際は、必ず「保証書」の記載事項を確認のうえ、大切に保管してください ●当社は、カメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています　**商標について** ●SONYはソニー株式会社の商標です ● α はソニー株式会社の商標です ●Exmor Rおよび Exmor R はソニー株式会社の商標です ●BIONZ X、ビオンズ エックスおよび BIONZ X はソニー株式会社の商標です ● XQD S TruFinder はソニー株式会社の商標です ●XAVCと XAVC S はソニー株式会社の商標です ●PlayMemories Online、PlayMemories Home、PlayMemories Mobile、PlayMemories Camera Appsはソニー株式会社の商標です ●Wi-FiおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です ●N-Markおよび N は、NFC Forum, Incの商標あるいは登録商標です ●Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です ●Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です ●その他記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中にはTM、®マークは明記していません
バックアップのおすすめ 万一、カメラや記録媒体の不具合により撮影できない場合や記録内容が破損・消滅し再生できない場合、画像や音声などの記録内容の補償はご容赦ください。大切な記録内容は定期的なバックアップをおすすめします。

ソニー製品情報　パソコン、タブレット、スマートフォンから　sony.jp/

本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用

表示を正しく
家電公取協会員

当社は、適正な表示を推進しています。

ソニー株式会社
ソニーマーケティング株式会社／〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

商品に関するお問い合わせは
買い物相談窓口
フリーダイヤル 0120-777-886
●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9555
●受付時間　月～金 9:00～18:00　土・日・祝日9:00～17:00

カタログ内容について、詳しく知りたい方は、近くのソニー商品販売店、または買い物相談窓口にお問い合わせください

ショールーム　銀座ソニービル／〒104-0061　東京都中央区銀座5-3-1
ソニーの最新商品やソリューションをご体験ください。なお展示していない商品もあります

お買い求めは当店へ

2015.7
カタログ記載内容2015年6月現在

AXCYTP-1 Printed in Japan.